



第43回 毎日こどもピアノコンクール 札幌地区予選 小学校4年生の部



審査員講評

しづやちさと
渋谷千里先生 (当番審査員)

札幌地区予選では94名の演奏を聴かせて頂きました。全体的にレベルが高く、昨年よりも美しい音を奏でる方が増えている事を嬉しく感じています。

課題曲についてはどなたもよく研究されており、甲乙つけがたい演奏が多くありました。その中で「和声」を丁寧に表現し、まとめ上げた方の演奏は特に魅力的に輝いていたと思います。

選択曲についてはそれぞれご自身のキャラクターにあった選曲がなされていたと思います。気持ちが先行して一つ一つの音を追いすぎるあまり、フレーズが短くなったり拍感が無くなったりしない様留意して頂きたいですね。また速い曲を選んだ方の中には、テンポに追われて音の間が詰まっていく方も見受けられましたので、「よく聴く」事を大切に演奏する事を心がけて下さい。

コンクールは一度きりの演奏で点数が決まるという特性上、思う様な演奏ができず悔しい想いを抱えている方も居ると思いますが、決してがっかりする事なく「今日の結果は今日の演奏に対するもの」と気持ちを切り替え、次の目標へ挑戦して頂けたらと願っています。

また、本選へ進出が決まった方はあと数週間自分がどう表現したいかを見つめ直し、サンプラザホールで更に成長した演奏を聴かせて下さるのを楽しみにしています。



第43回 毎日こどもピアノコンクール 札幌地区予選 小学校4年生の部

審査員講評

ふじた ゆかこ
藤田裕佳子先生 (当番審査員)



4年生の皆さんの、音楽に一生懸命取り組んだ演奏を聴かせていただきました。大変好印象でした。

4年生というと、個人差はありますが、手の大きさも身体も子供と大人の間位置する学年だと思います。

一年前に比べると手や体が大きくなった分、自然と大きな音が出るようになったのではないのでしょうか。ただ響きや音色を考えずに出す「大きな音」は、乱雑に聴こえてしまうことがあります。強弱記号の通りに変化をつけるだけではなく、どのような音色で、どのようなイメージの音なのかまで、音に対して深く感じて練習してみましょう。また、ホールでの演奏は、ホールの中に響いている自分の音を聴きとることも大切です。日ごろから、自分の音を聴くことも練習の大切なポイントです。

課題曲と選択曲では作曲された時代が違います。時代が違うと、音楽の様式も違ってきます。それぞれの様式にあった曲作りが要求されます。時代により歌い方の違いや使われている和音の響きの違いもあります。ただ、どのような時代の曲でも、同時に響いている数個の音の大きさのバランス作りが大切です。やはり耳を使って練習しましょう。

また足台や補助ペダルでは微妙なペダル操作は難しいと思います。ペダルは足ではなく耳で踏むといわれるくらいです。良く聴いてペダルを使ってみましょう。来年になると足台をはずして演奏できる方が増えてくるのではないかと思います。来年が楽しみです。

来年は5、6年の部の課題曲になります。内容も深く大人っぽい曲が増えると思います。今年のコンクールでの演奏が、大人の演奏への架け橋になることを願っています。

小学校4年生の部

並びは演奏順です

第43回 毎日こどもピアノコンクール
札幌地区予選



小関菜々美	高橋 椎	切江結羽
山本灯人	田村峻汰郎	大澤春
神坂詠		



高井英彰	若林夏芽	山家悠愛
小川珠季	道下愛理	富所蓮
小椋未来		



星川真翔	金森和奏	太田貴博
小野杏実	田村心咲	佐藤薫子
鵜瀬茉央	佐藤拓馬	北島さつき
近藤悠希	岩崎日花里	寺町拓登
金打逢音	村田心美	小林円佳

小学校4年生の部

並びは演奏順です

第43回 毎日こどもピアノコンクール
札幌地区予選



大谷美月	古瀬幸	徳田向葵
安達太晴	濱田結花	前田莉衣奈
山本蓮	中村倫子	田辺美佳
劉源菡	福土旦陽	関口心優貴
及川喜加	丹羽ひかり	山田紗衣里
麻谷寧音	大友嘉乃	兒玉岳
小久保和奏	竹内咲穂	鈴木愛ノ介



豊村航汰	横山樺乃	佐藤瑛奈
松村もも	宮本好晴	川上紗和
結城恋葉	田牧史帆	木下由唯
長沼奏良	羽田直生	倉田みのり
濱田織衣	津司来海	佐々木咲花
西川智弥	佐藤心奏	長澤富結音
角木湊	都築理奈	